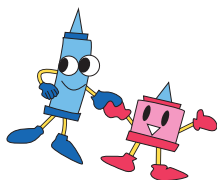


ミニディスクロージャー誌

平成 30 年度上半期 経営情報
平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日

和歌山県医師信用組合



目 次

1. ごあいさつ	1
2. 預金、貸出金の状況	1
3. 貸借対照表	2
4. 損益計算書	4
5. 自己資本比率	5
6. 収益状況	5
7. 金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額 ...	6
8. 保有有価証券の時価情報	7
9. 法令等遵守体制	7
10. リスク管理体制	8
11. 個人情報保護について	8
12. 「地域密着型金融」の取組み状況について	8

1. ごあいさつ

組合員の皆様には、平素より当組合をお引き立ていただき誠に有難うございます。

当組合の平成 30 年度上半期の決算概要について、ミニディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧を賜り当組合の現況をご理解いただければ幸いに存じます。

組合員皆様方の日頃のご愛顧に感謝すると共に、今後も「法令等遵守」及び「リスク管理態勢の強化・充実」を図り、良質な金融サービスの提供に努めてまいりますので、尚一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

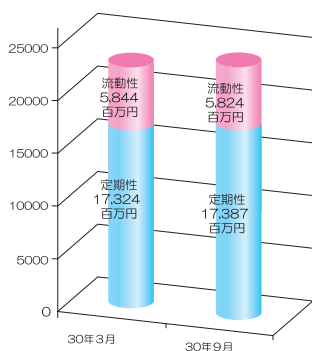
平成 30 年 11 月
理事長 平石 英三

2. 預金、貸出金の状況

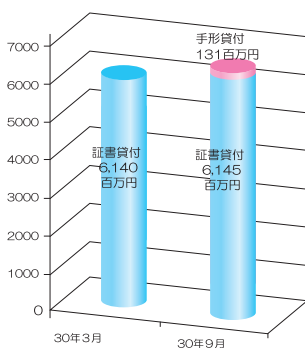
(単位：百万円)

	金 額		対前年度末比	
	30年3月末	30年9月末	金 額	比 率 (%)
預金・積金	23,169	23,212	43	0.18
貸 出 金	6,140	6,276	136	2.21

預金・積金



貸出金



平成 30 年度上半期は、皆様方のご協力をいただき、預金が 43 百万円の増加、又、貸出金についても 136 百万円の増加となりました。

今後も、組合員皆様方のお役にたてるよう努めてまいります。

3. 平成30年度上半期 (平成30年9月30日現在) 貸借対照表

科 目				金 額
(資産の部)				(千円)
現		金		24,115
預	け	金		10,324,339
有	価	証	券	9,019,297
	国		債	—
	地	方	債	1,109,890
	短	期	債	—
	社	社	債	7,212,443
	株		式	100
	そ	の	他	の
		証	券	696,863
貸	出	金		6,276,888
	手	形	貸	付
	証	書	貸	付
				131,000
				6,145,888
そ	の	他	資	産
	全	信	組	連
	前	払	費	用
	未	収	収	益
	そ	の	他	の
			資	産
				95,657
				20,000
				—
				30,742
				44,914
有	形	固	定	資
	建			産
				物
	そ	の	他	の
			有	形
			固	定
			資	産
				16,416
				13,243
				3,172
無	形	固	定	資
	ソ	フ	ト	ウ
	エ			ア
	そ	の	他	の
			無	形
			固	定
			資	産
				232
				—
				232
繰	延	税	金	資
				産
				—
債	務	保	証	見
				返
				690
貸	倒	引	当	金
	(	う	ち	個
		別	貸	倒
		引	当	金
				△ 63,541
				(△ 34,243)
資 産 の 部 合 計				25,694,093

科 目					金 額
(負債の部)					(千円)
預 金 積 金					23,212,139
普 通 預 金					5,785,922
定 期 預 金					15,847,248
定 期 積 金					1,540,269
そ の 他 預 金					38,699
借 用 金					400,000
当 座 借 越					400,000
そ の 他 負 債					32,342
未 払 費 用					8,922
給 付 補 填 備 金					3,360
未 払 法 人 税 等					16,921
前 受 収 益					1,914
払 戻 未 済 金					—
そ の 他 の 負 債					1,223
賞 与 引 当 金					6,072
退 職 給 付 引 当 金					37,544
役 員 退 職 慰 労 引 当 金					9,538
繰 延 税 金 負 債					31,457
債 務 保 証					690
負 債 の 部 合 計					23,729,785
(資産の部)					
出 資 金					92,110
普 通 出 資 金					92,110
利 益 剰 余 金					1,714,075
利 益 準 備 金					91,280
そ の 他 利 益 剰 余 金					1,622,795
特 別 積 立 金					1,587,200
(うち目的積立金)					(7,200)
当 期 未 処 分 剰 余 金					35,595
組 合 員 勘 定 合 計					1,806,185
その他有価証券評価差額金					158,122
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計					158,122
純 資 産 の 部 合 計					1,964,308
負 債 及 び 純 資 産 の 部					25,694,093

4. 平成30年度上半期 (平成30年9月30日現在) 損益計算書

科 目		金 額
		(千円)
経	常 収 益	133,716
	資 金 運 用 収 益	86,079
	貸 出 金 利 息	33,990
	預 け 金 利 息	7,080
	有価証券利息配当金	44,208
	その他の受入利息	800
	役 務 取 引 等 収 益	561
	受入為替手数料	259
	その他の役務収益	302
	そ の 他 業 務 収 益	47,074
	国債等債券売却益	46,965
	国債等債券償還益	6
	その他の業務収益	102
	そ の 他 経 常 収 益	—
	貸倒引当金戻入益	—
経	常 費 用	125,683
	資 金 調 達 費 用	7,742
	預 金 利 息	6,283
	給付補填備金繰入額	1,458
	当 座 借 越 利 息	—
	役 務 取 引 等 費 用	841
	支払為替手数料	125
	その他の役務費用	715
	そ の 他 業 務 費 用	1,764
	国債等債券売却損	1,734
	国債等債券償還損	—
	その他の業務費用	30
経	費	76,079
	人 件 費	50,901
	物 件 費	25,049
	税 金	129
	そ の 他 経 常 費 用	39,255
	貸倒引当金繰入額	36,617
	貸 出 金 償 却	—
	その他の経常費用	2,638
経	常 利 益	8,032
特	別 利 益	—
	固 定 資 産 処 分 益	—
	そ の 他 の 特 別 利 益	—
特	別 損 失	—
	固 定 資 産 処 分 損	—
	そ の 他 の 特 別 損 失	—
税 引 前 当 期 利 益		8,032
法 人 税、 住 民 税 及 び 事 業 税	10,163	
法 人 税 等 調 整 額	△ 9,863	
法 人 税 等 合 計		300
当 期 純 利 益		7,732
繰 越 金 (当 期 首 残 高)		27,863
当 期 未 処 分 剰 余 金		35,595

5. 自己資本比率

自己資本比率とは金融機関の健全性を端的に表す数字です。当組合の平成 30 年 9 月末現在における自己資本比率は、**14.17%**です。

当組合では、これまで内部留保による資本の積上げを行うことにより自己資本を充実させ、国内基準である 4 %を上回っており、経営の健全性・安定性を充分保っております。

一方、業務推進を通じ、そこから得られる利益の積上げを自己資本充実策の第一義的な施策と考えております。

(単位：百万円)

	自己資本比率	対年度末比	自己資本額	コア資本に係る基礎項目の額	コア資本に係る調整項目の額	リスクアセット額
30年3月末	15.68 %		1,829	1,829	0	11,661
30年9月末	14.17 %	△1.51%	1,835	1,835	0	12,948

* 30年3月末の内容について、一部誤りがございましたので訂正しております。詳細はホームページでご確認いただきますようお願い申し上げます。

(注)

- ① 自己資本比率(%) = 自己資本額 ÷ リスクアセット額等合計 × 100
- ② 自己資本額はコア資本に係る基礎項目の額からコア資本に係る調整項目の額を差し引いた額で構成されています。基礎項目の額としては、組合員の皆様からお預かりしている出資金、当組合が年度ごとの利益を積立てている利益剰余金及び一般貸倒引当金が該当します。
- ③ リスクアセット額は、新しい自己資本比率規制に基づいたリスクウェイトを乗じて得た合計額等です。

6. 収益状況

	平成 29 年 9 月	平成 30 年 9 月
業 務 純 益	24 百万円	44 百万円
コア業務純益	3 百万円	2 百万円
経 常 利 益	22 百万円	8 百万円
当 期 純 利 益	16 百万円	7 百万円

* 業務純益とは

業務粗利益から業務遂行に必要とされる費用、即ち経費と一般貸倒引当金繰入額を引いたものです。

* コア業務純益とは

実質業務純益から国債等債券売買等の損益を増減算したものです。

* 経常利益とは

経常収益から経常費用を引いたもので、経常収益は資金運用益・貸出金利息等で、経常費用は預金利息・物件費・人件費など組合の経費等です。

* 当期純利益とは

経常利益から法人税・住民税及び事業税等を引いたものです。

7. 金融再生法開示債権 及び同債権に対する保全額

(単位：百万円、％)

区 分		債 権 額	担保・保証等	貸倒引当金	保 全 額	保 全 率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	30年3月末	—	—	—	—	—
	30年9月末	—	—	—	—	—
危 険 債 権	30年3月末	—	—	—	—	—
	30年9月末	91	42	34	77	84.61
要 管 理 債 権	30年3月末	119	42	17	60	50.42
	30年9月末	25	—	3	3	12.00
不 良 債 権 計	30年3月末	119	42	17	60	50.42
	30年9月末	116	42	38	80	68.96
正 常 債 権	30年3月末	6,021				
	30年9月末	6,160				
合 計	30年3月末	6,141				
	30年9月末	6,277				

(注)

平成30年9月末の計数は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、簡便な方法により算出しております。

債権者区分については、原則として平成30年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。

ただし、4月1日から9月末までに倒産・不渡り等の客観的な事実ならびに、組合で定める自己査定区分に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分の変更と認められる額を反映させております。

- ・破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- ・危険債権とは、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- ・要管理債権とは、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち、貸出条件を緩和している債権及び3カ月以上延滞している債権の合計です。
- ・正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権の合計です。

貸出金の審査体制は、所定の融資基準に基づいて合議制による厳格な審査を行い、安全性・健全性の確保につとめており、不良債権防止についても十分注意しながら取り組んでいます。

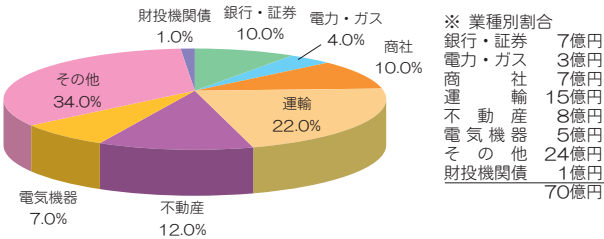
8. 保有有価証券の時価情報（平成30年9月末）

（単位：百万円）

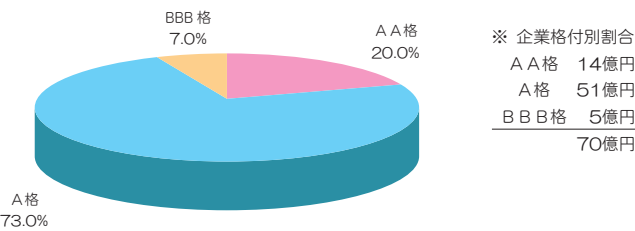
	簿 価	時 価	評価損益
国 債	—	—	—
地 方 債	987	1,109	121
政府保証債	—	—	—
公社公団債	200	201	1
事 業 債	6,911	7,010	99
外 国 証 券	700	696	△ 3
株 式	0	0	—
合 計	8,800	9,019	218

有価証券については、日銀のマイナス金利政策の為、低金利の市場環境が続く厳しい状況ですが、信用リスク・金利リスクに充分配慮した運用を心掛けております。

1. 当組合保有事業債等発行体（クレジットライン対象先）業種別割合



2. 当組合保有事業債等発行体（クレジットライン対象先）企業格付別割合



9. 法令等遵守体制

法令等遵守につきましては、金融機関の公共的使命と社会的責任を経営の最重要課題の一つとして、理事及び監事全員が認識するとともに、役職員全員に倫理綱領、就業規則等を基本として法令遵守意識や倫理観を確立するよう日頃より教育・研修をおこなっています。

当組合では、コンプライアンス（法令等遵守）に関する取組みとして、コンプライアンス委員会規程を制定し、コンプライアンスを統合的に把握・管理する部署として、コンプライアンス委員会を設けており、役職員1人ひと

りが法令等遵守の徹底を図っています。

又、苦情・相談受付処理体制の整備、反社会的勢力排除への取組み、内部通報制度などを設け、不祥事件等の未然防止に努めております。

10. リスク管理体制

当組合では各種リスクに備え、法令・内部規定の遵守はもとより、リスク回避の為統合的リスク管理基本規程を設け、リスク管理を経営の主要課題の一つと位置づけ、リスク管理態勢の整備に努めております。

11. 個人情報保護について

当組合では、個人情報保護の重要性に鑑み、個人情報保護に関する法律等、関係法令等を遵守してお客様の情報を厳格に管理し、お客様のご希望に沿って取り扱うとともにその正確性・機密保持に努めております。

12. 「地域密着型金融」の取組み状況 について

○地域密着型金融の推進に関する基本的な方針

当組合の設立趣旨である和歌山県医師会会員の相互扶助の金融機関であるということを十分に認識して、今後とも金融サービスの向上に努め、地域医療に貢献すべく取り組んでいきます。

○具体的な取組の重点事項及び具体的目標

当組合では「地域密着型金融」の推進については、今後とも下記重点事項について、積極的に推進していくものとしたします。

①新規開業支援の積極的な取組み

②事業継承・設備投資等のニーズへの迅速な対応

③顧客への説明態勢の整備・相談苦情処理機能の強化

④「経営者保証に関するガイドライン」に準じた対応

等、組合員の先生方に積極的に推進することにより金融円滑化に努めております。

○平成30年度取組みの重点事項及び具体的目標

新規開業支援の積極的取組み及び組合員先生方の設備投資等に対して、金融面よりサポートしていくことを重点方針として推進してまいります。

又、「経営者保証に関するガイドライン」に則した取組みを実践していきます。

当組合としましては、適切なリスク管理の下、適切かつ積極的にリスクテイクを行い、金融仲介機能を発揮していくことにより、当組合の信頼の維持、業務の健全性及び適切性を確保するように努めてまいります。

☆ 業務のご案内 ☆

【預金業務】

普通預金	出し入れ自由でお手軽、医師会関係諸会費などの「自動引き落とし」にご利用いただけます。
決済用預金	普通預金と同様のサービスの無利息型預金。預金保険制度の全額保護対象となります。
定期預金	スーパー定期預金、大口定期預金（1千万円以上）の取扱いをしています。
定期積金	目標に応じ、毎月一定額を積立てる預金です。

※特別定期預金「スタート」

利 率：1.00 %（税引前）

申込対象：新規に組合へご加入いただく先生、配偶者、法人

期 間：1年（自動継続） 優遇利率は初回満期日までとなります。

満期時自動継続後の利率は、店頭表示利率となります。

預入金額：10万円以上 300万円まで（10万円単位）

お申し込みは、組合加入日より6ヶ月以内1回のみ、新たにお預けいただくご資金に限らせていただきます。

※特別定期積金「ダブル」

期 間：3年

月掛金額：5万円以上

利 率：店頭表示利率×2

【貸出業務】

商 品 名	ご利用限度額	期 間	そ の 他
新規開業支援ローン	1億5千万円まで	30年以内	ご開業資金に
医療機器購入ローン	2千万円まで（無担保）	5年以内	医療機器のご購入に
特 別 融 資	1千万円まで（無担保）	2年以内	納税、賞与などの短期資金に
オ ー ト ロ ー ン	2千万円まで（無担保）	7年以内	お車のご購入に
教 育 ロ ー ン	3千万円まで（無担保）	8年以内	教育資金に
教 育 ロ ー ン II	1千万円まで（無担保）	10年以内	保証会社保証付
住 宅 ロ ー ン	1億円まで	30年以内	住宅の新築・増改築資金等に
医 療 事 業 ロ ー ン	4億円まで	30年以内	診療所の新築・増改築資金に
医 療 事 業 ロ ー ン II	5千万円まで（無担保）	10年以内	
フ リ ー ロ ー ン	1千万円まで	5年以内	グループ保険等加入
大 型 フ リ ー ロ ー ン	1億円まで	30年以内	お使いみちは自由です
事 業 継 承 ロ ー ン	4億円まで	30年以内	事業の継承に

商品のご利用には一定の条件がございますので、詳細につきましては当組合までお問合せください。

和歌山県医師信用組合

〒640-8137 和歌山市吹上1丁目2番4号

TEL 073 (423) 2504 FAX 073 (436) 1469

HP <http://www.wakayamaishishin.co.jp>

